

6D-049 支線棒  
(Bランク)



2013年 9月2日制定

2013年10月2日施行

配電部 (主管部)

東京電力パワーグリッド株式会社

## 1. 総則

### 1.1 適用範囲

本品は主として 6D-048「埋設型地支線用アンカ」を地支線に取付けるために用いる。

### 1.2 種類

本品の種類は、表 1 に示す 2 種類とする。

表 1

種類	設計荷重
45 号	44.1kN (4,500kgf)
65 号	63.8kN (6,500kgf)

### 1.3 表示

本品には、付図 1～2 に示す位置に容易に消えない方法で次の事項を記入する。

- (1) 種類 例： 45 号
- (2) 製造年 例： 2013・・・2013 年
- (3) 製造者名またはその略号

### 1.4 関連規格

#### 1.4.1 当社標準仕様

- (1) 6D-015 支線プラスチックガード
- (2) 6D-048 埋設型地支線用アンカ
- (3) 6E-069 巻付グリップ

#### 1.4.2 日本工業規格

- (1) JIS B 1082 (2009) ねじの有効断面積及び座面の負荷面積
- (2) JIS G 3101 (2010) 一般構造用圧延鋼材
- (3) JIS G 3445 (2010) 機械構造用炭素鋼鋼管
- (4) JIS G 3507-2 (2005) 冷間圧造用炭素鋼—第 2 部：線
- (5) JIS H 0401 (2013) 溶融亜鉛めっき試験方法
- (6) JIS H 8641 (2007) 溶融亜鉛めっき

## 2. 構造および材料

### 2.1 一般事項

- (1) キズ、ワレ、サビその他使用上不適当な欠点がないこと。
- (2) 製品の表面は滑らかであり、突起、バリ、表面処理の剥がれ等がないこと。

### 2.2 構造および寸法

本品の形状ならびに寸法は、付図 1～3 を標準とし、以下を満足するものとする。

- (1) シンプルは表 2 に示す当社標準仕様「6E-069 巻付グリップ」の種類と確実に組み合わせ可能な形状とする。
- (2) 本品は当社標準仕様「6D-048 埋設型地支線用アンカ」と組み合わせ、ストッパーと六角ナットで垂直に固定できるものとする。
- (3) 本品は当社標準仕様「6D-015 支線プラスチックガードと組み合わせ、完全に収納できるものとする。

表 2

種類	巻付グリップ種類
45 号	45mm <sup>2</sup> シンプル用
65 号	90mm <sup>2</sup> シンプル用

## 2.3 材料

材料は、製品機能特性を満足する JIS に規定される鋼材を使用すること。

【解説】「製品機能特性を満足する JIS に規定される鋼材」とは、従来の知見から、JIS G 3101 に規定される SS400 などがある。

## 2.4 表面処理

本品は JIS H 8641（溶融亜鉛めっき）に規定される溶融亜鉛めっきを施すこと。

## 3. 性能

本品の性能は、4 項の試験を行ったとき表 3 による。

表 3

項目		性能		試験方法 適用項
外観		実用上不適當な箇所がないこと。		4.1
構造・寸法		付図 1, 2, 3 に示す主要寸法に適合すること。		4.2
強度性能	荷重試験	45 号	設計荷重を加え、3 分間経過しても各部に異常が生じないこと。また、その後破壊荷重まで加え、破壊荷重値以下で破壊※しないこと。	4.3
		65 号		
表面処理	めっき 付着量	ロッド 座金	400g/m <sup>2</sup> 以上（ねじ部を除く）	4.4
		ナット	350g/m <sup>2</sup> 以上（ねじ部を除く）	

※破壊とは、破断や座屈などにより荷重が増加しない状態とする。

## 4. 試験方法

### 4.1 外観検査

目視または手触りにより検査する。

### 4.2 構造・寸法検査

ノギスや定規などにより寸法を測定する。

### 4.3 強度試験

本品を図 1 またはこれと同等の試験方法により、座金を固定した状態でロッド部またはシンプルに表 4 の設計荷重を 3 分間加える。その後、引き続き荷重を増加させ、破壊荷重と破壊箇所を記録する。なお、試験設備の都合により A 部、B 部各々について分けて行ってもよい。

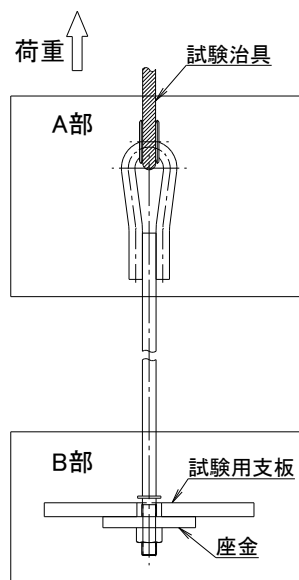


図 1

表 4

種類	設計荷重	破壊荷重
45 号	44.1kN(4,500kgf)	66.2kN(6,750kgf)
65 号	63.8kN(6,500kgf)	95.6kN(9,750kgf)

#### 4.4 溶融亜鉛めっき試験

JIS H 0401(溶融亜鉛めっき試験方法)「5. 付着量試験方法」に規定されるいずれかの試験により付着量を測定する。

なお、付着量試験における試験試料は、あらかじめ適当なテストピースを作り、製品と同一製造工程中の同一作業方法により、めっきを施したものを使用しても良い。

### 5. 試験

#### 5.1 一般事項

本品は4項の試験方法により「5.2 型式試験」, 「5.3 受入検査」および「5.4 製造工程検査」を行い2項~3項のすべての規定に合格しなければならない。

#### 5.2 型式試験

型式試験は、製品または製品と同一条件で製造された試験片に対して、次の試験項目について行う。なお、試験は同一型式のもの3個について行う。

- (1) 外観検査
- (2) 構造・寸法検査
- (3) 強度試験
- (4) 溶融亜鉛めっき試験

#### 5.3 受入検査

受入検査は「5.2 型式試験」に定める方法により納入先が指示する場合に立合で実施する。

また、具体的な試験項目、抜き取り率については納入者との協議により定めるものとする。

なお、立合による受入検査を実施しない場合、製造者は予め当社との協議により定めた社内試験を行い、試験成績書として納入先に提出するものとする。

#### 5.4 製造工程検査

量産時においても型式品と全く同一のものが生産される体制にあることを確認するため、使用材料、各製造工程の品質管理項目、品質管理方法等の検査を実施する。

### 6. その他

#### 6.1 一般事項

(1) 本仕様書の規定事項以外で、製品の性能、機能を満足するために必要な事項については、当社との協議により決定するものとする。

(2) 本仕様書の一部を変更することにより、使用上または製造上相当の利益があるときは、当社の承認を得て変更することができる。

(3) 当社が必要と認めるときには、工程立ち入り検査、材料検査などを実施できるものとする。

#### 6.2 試験品の負担

試験品は納入者の負担とする。

#### 6.3 提出書類

型式審査に際し、以下の書類を提出すること。

##### 6.3.1 製作仕様書

当社が本仕様書との適合を審査するために必要な事項を具体的に製作仕様書へ記載し、寸法の公差、材質を記入した図面を添付すること。また、必要に応じて製作仕様書に準じた技術資料を添付すること。

##### 6.3.2 試験成績書

「5.2 型式試験」を実施し、その結果および試験条件などを記載すること。

### 6.3.3 品質管理報告書

使用材料，各製造工程の品質管理項目，品質管理方法，不具合対応，品質管理体制等に関する内容を「品質管理工程図」，「外注購入先の管理」等に具体的に記載すること。なお，主要製造工程を外注する場合には，外注工程管理資料（外注先の工程管理状況を示すもので，品質管理工程図の書式に準じて記載されたもの）を提出すること。具体的な記載範囲は当社との協議とする。

### 6.3.4 技術資料

型式審査にあたり，製品の性能，品質を十分かつ適切に判断するため，以下の技術資料の提出を求められることがある。

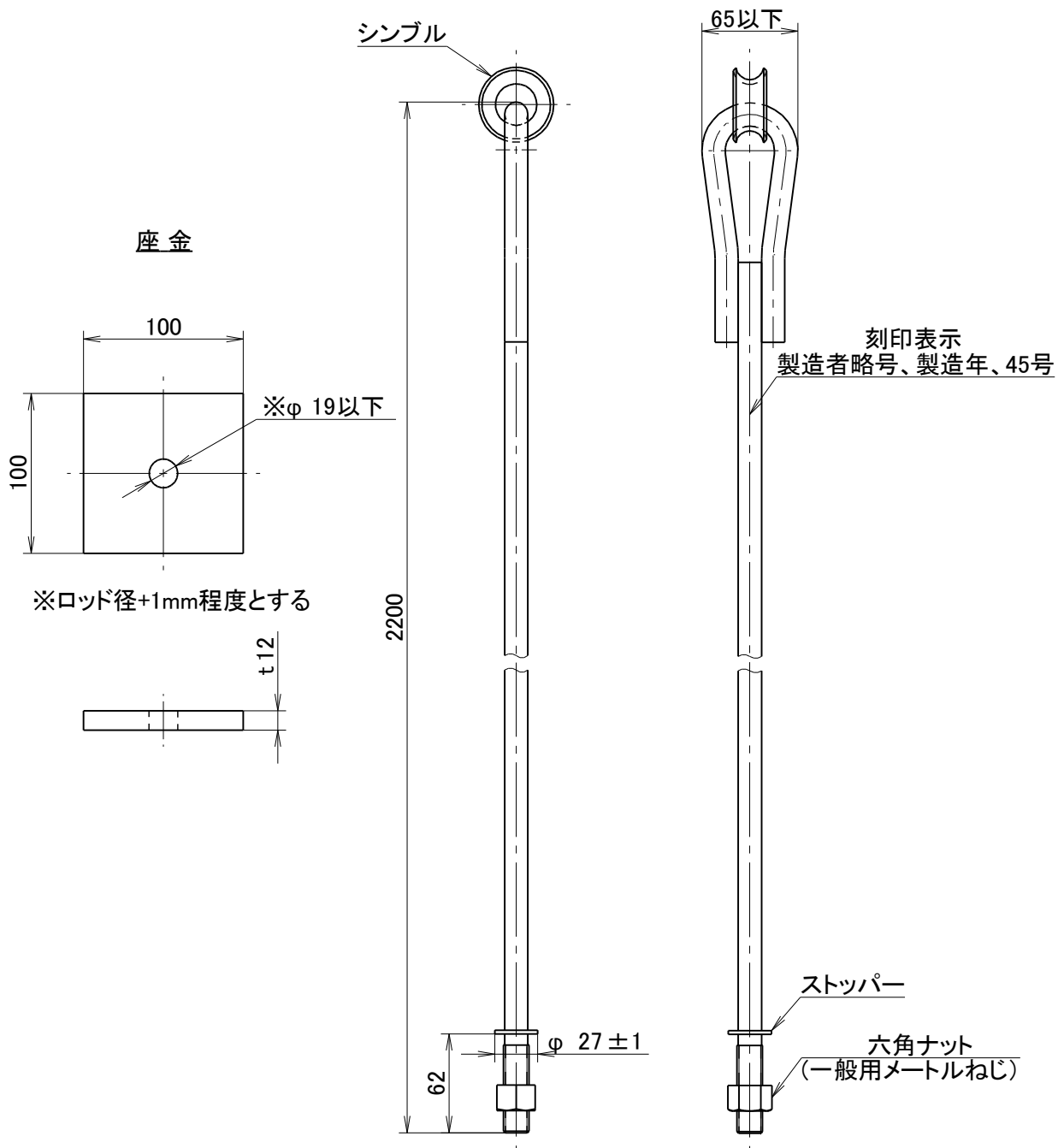
- ・ねじ部の断面強度は JIS B 1082 に規定される一般用メートルねじの有効断面積を使用すること。

### 6.4 梱包および荷造り

輸送および持ち運びに適し，容易に破損しないような適切な方法を用いる。また，具体的な荷造り方法は，当社と協議の上，梱包仕様書に明示すること。

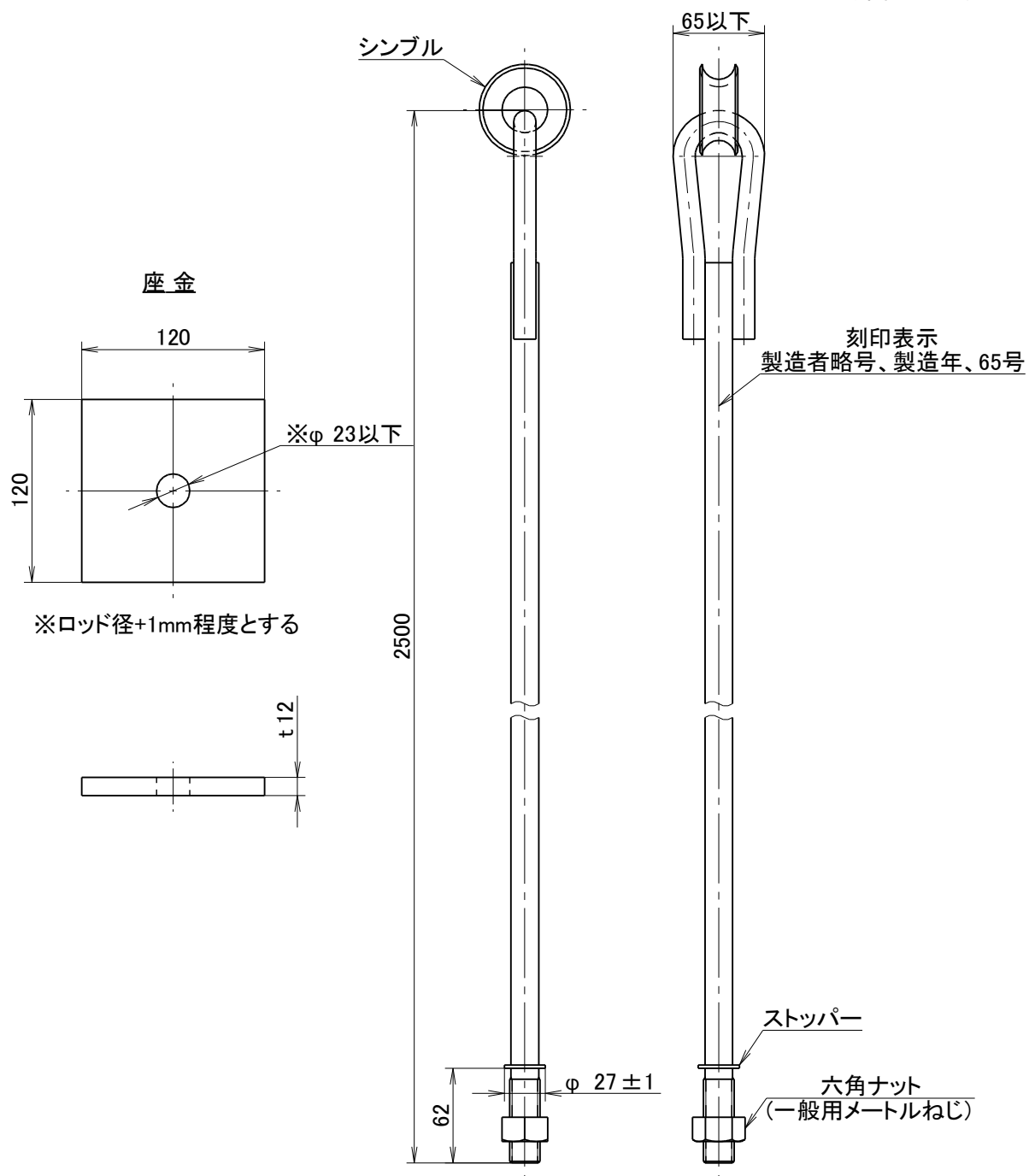
(以下 余白)

(単位：mm)

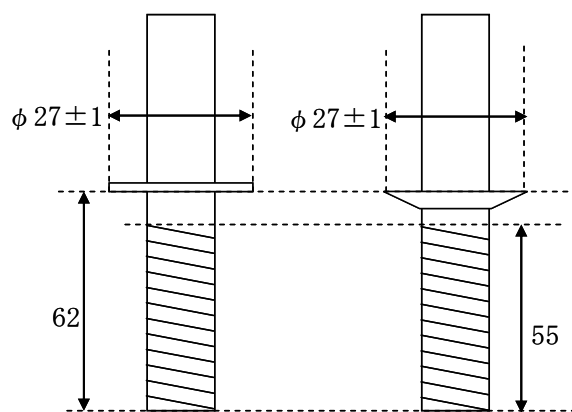


付図1 45号

(単位：mm)



付図2 65号



※平板もしくはテーパ構造とし，埋設型地支線用アンカが支線棒に対して垂直に取り付けられるものとする

付図3 ストッパー拡大